

このままでは諫早と有明海に豊かな未来はない……

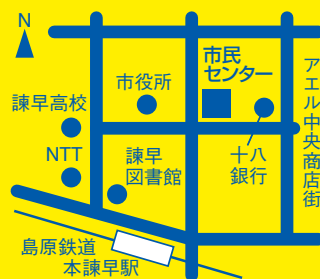
諫早湾閉め切り10年 **1997.4.14** ▶ **2007.4.14** キャンペーン

閉め切り10年の節目を、干潟と海と地域社会の再生への転換点にしよう!



▶ 干潟を守る日2007諫早全国集会 4月14日(土) 13:30 「閉め切り10年 諫早干潟・有明海の再生へ」

- 会 場：諫早市民センター（諫早市東小路町 8-5）
- 参加費：1000円（資料代含む）
- 主 催：諫早干潟緊急救済本部／干潟を守る日2007諫早全国集会実行委員会
- 主なプログラム（予定）
- ・映像&トーク：諫早湾干拓をめぐるこの10年の出来事や運動の歩みなどを、写真やビデオを交えながら、地元の市民や有明海の漁業者の方々に語っていただきます。
- ・ディスカッション：諫早湾干拓がもたらす環境悪化、漁業不振、財政逼迫……。このままいくと5年、10年後にはどうなるのか、専門家による討議で明らかにします。
- 司 会：花輪伸一（WWFジャパン）
- パネリスト：片寄俊秀（大阪人間科学大学教授）／佐々木克之（元中央水産研究所）
堤裕昭（熊本県立大学教授）／堀良一（弁護士）／宮入興一（愛知大学教授）他



▶ 有明海沿岸4県キャラバン隊 4月9日(月)～4月13日(金)

- キャラバン隊が有明海沿岸の各地を回り、街頭でのPRや漁業者との交流会、黄色いハンカチ・メッセージの募集などを行います。時間、場所等の詳細はホームページでお知らせします。
- 場 所：熊本（4月9日）、福岡（10日）、佐賀（11日）、長崎（12日）、諫早（13日）
 - 主 催：有明海漁民・市民ネットワーク



1997年4月14日の諫早湾閉め切り

▶ 諫早干潟慰霊祭 4月14日(土) 10:00

- 「諫早干潟痛恨の碑」が建つ白浜棧橋で、諫早干潟の生き物たちを追悼します。
- 場 所：白浜棧橋（諫早市・本明川河口）
 - 主 催：諫早干潟を憂える大牟田の仲間



閉め切り後の干上がった諫早干潟

▶ ろうそく行列 4月14日(土) 18:00 (集合)

- キャンドルを灯し、鎮魂の鐘を鳴らしながら諫早市内を行進します。
- 場 所：諫早市・眼鏡橋前芝生広場集合～市内アーケード～本明川河川敷
 - 主 催：干潟寄り

▶ 干潟の豊かさを思い出すバスツアー 諫早から鹿島への旅 4月15日(日)

諫早湾の干拓地や潮受け堤防などを見学した後、佐賀県の鹿島干潟（七浦海岸）でガタにまみれて遊び・学びます。要事前申し込み。詳細はホームページでお知らせします。



諫早湾を横断する7kmの潮受け堤防

▶ 黄色いハンカチ・メッセージ 募集期間 3月1日(木)～4月6日(金)

諫早や有明海に関するメッセージを黄色い布に書いてお送りください。全国から寄せられた黄色いハンカチを白浜棧橋やシンポジウム会場に飾ります。詳しくは裏面を参照。



排水門前での漁業者の海上デモ

諫早湾・有明海沿岸のみならず、全国各地のみならず、
キャンペーンへのご参加、ご協力をよろしくお願いします!

キャンペーン・ホームページ <http://www.isahaya-higata.net/>

お問い合わせ 諫早干潟緊急救済東京事務所 TEL/FAX 03-3986-6490

今からでも遅くない。干潟の再生と潮流・潮汐の回復こそが 諫早湾と有明海沿岸の未来をひらく。

■ 干拓事業による環境破壊は有明海全体に拡大

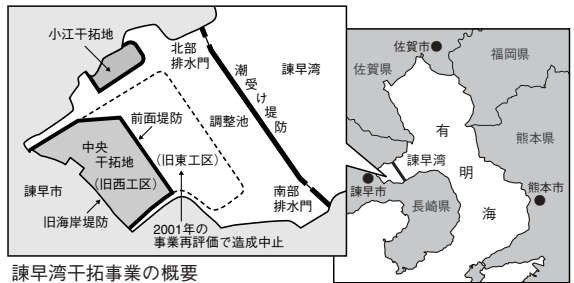
1997年4月14日。いわゆる「ギロチン」によって諫早湾が閉め切れ、3500ヘクタールもの国内最大級の干潟域が干上がり、豊かな生態系が失われてから、まもなく10年になります。問題の諫早湾干拓事業は、今年の夏には工事が終了し、農水省や長崎県などは、事業があたかも完成したかのような宣伝をするに違いありません。しかし、それはあくまでも「名目上の完成」に過ぎません。

私たちがまず振り返らなければならないことは、私たち自身が、諫早湾の干潟の本当の豊かさや大切さを、10年前の閉め切りによって、はじめて知ったということです。本来ならば、閉め切り直後の社会的な関心が盛り上がった時期に、即座に事業を中止すべきでした。そうすれば有明海の漁業被害がこれほど深刻化することもなく、また、事業に投じる費用も、現在の約2500億円の半分程度で済んだはずで。

しかし事業がそのまま進められたため、諫早湾閉め切りによって有明海全体の潮流・潮汐が弱まり、これが「有明海異変」とよばれる有明海の広範囲にわたる漁業不振の要因となりました。このメカニズムを国側は認めていませんが、海洋学会などの専門家によって、これを裏付ける研究が多数発表されています。

■ 無駄な農地造成、水質悪化のツケは長崎県民に

長崎県は、造成された800ヘクタールもの干拓地を一括して県の農業公社に買い取らせようとしています。これは「優良農地」として造成したにもかかわらず、売却のメドが立たないことの証拠であり、この手続き自体が違法だとして長崎県民が訴訟を起こしました。



諫早湾干拓事業の概要

調整池の水質は、現在でも水質目標値を大きく超えたままで、水質改善は極めて困難です。同じような状況にある岡山県の児島湖の例を見ても、莫大な費用を文字通りドブに捨てることになりかねません。

事業推進の殺し文句にもなった防災効果も、実際にはほとんど期待できないことが明らかになっています。

■ 今からでも事業を中止し、諫早干潟の再生を

結局、諫早湾干拓事業は、貴重な干潟を消滅させ、有明海の漁業に甚大な被害を与え続けるもので、農水省による費用対効果の計算によっても、社会的な効果が費用を大幅に下回っています。仮に事業が「名目上の完成」をした後からでも、水門開放や潮受堤防の撤去等で、諫早湾の干潟と有明海の潮流・潮汐を回復し、有明海の漁業を再生することこそが、社会全体の利益につながるということ、私たちは具体的に示してきました。

今こそ、諫早湾干拓が何をもたらしたのかを冷静に振り返り、諫早湾閉め切りから10年の節目を、干潟と海と地域社会を再生するための転換点にするべきではないでしょうか。（諫早干潟緊急救済東京事務所 菅波 完）

諫早湾閉め切り10年 キャンペーン 関連情報

黄色いハンカチ・メッセージ大募集！

諫早では干拓事業への抗議や干潟再生への願いのシンボルとして「黄色いハンカチ」を掲げています。諫早干潟や有明海再生への思い、干拓事業に対する意見など、あなたのメッセージやイラストを黄色い布（25×25cm程度）に書いて、4月6日までに郵便でお送りください。寄せられたハンカチは干潟慰霊祭が行われる白浜栈橋やシンポジウム会場に飾ります。

★送り先：〒854-0073 諫早市中尾町4-15 高谷方「黄色いハンカチ」係

★お手元に黄色い布がない方は、下記の諫早干潟緊急救済東京事務所までご連絡いただければ無料でお送りします。

支援カンパのご協力をお願いします

今回のキャンペーンに対する皆さまからの支援カンパを募集しています。下記の郵便振替口座までご送金ください。

★振替用紙の通信欄に「諫早10年カンパ」とご記入ください。

JAWAN 干潟・湿地を守る日2007

日本湿地ネットワーク（JAWAN）では、諫早湾閉め切りの日・4月14日を「干潟・湿地を守る日」とする湿地保護キャンペーンを毎春開催しています。全国各地で自然観察会やクリーン作戦などのイベントが実施されます。詳しくはJAWANホームページ（<http://www.jawan.jp/>）をご覧ください。

ブックレット「諫早湾干拓と有明海」（仮題）

諫早湾干拓の経緯や問題点を、一般の方にも読みやすくまとめたブックレット（小冊子）を4月に発行します。このブックレットは4月14日のシンポジウム参加者には参考資料として配付する予定です。シンポジウムに参加できない方でブックレットをご希望の方は、下記の郵便振替口座まで代金と送料をお振り込みください。お届けは4月中旬以降となります。

★ブックレット代金 1冊800円（送料込み）

★振替用紙の通信欄に「ブックレット」とご記入ください。

お問い合わせ：諫早干潟緊急救済東京事務所 〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷3-11-4-205 SYスタジオ内
TEL/FAX 03-3986-6490 E-mail isahaya@khc.biglobe.ne.jp <http://www.isahaya-higata.net/>
郵便振替口座：00140-3-402895 加入者名：諫早干潟緊急救済東京